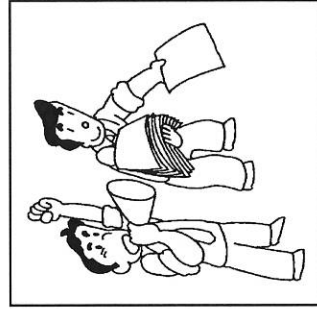




〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
 日港福会館 5 階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



12月2日(金)14:00~14:30 第6回検数労連16冬季一時金交渉

16冬季一時金闘争妥結を表明!

支給日 12/9(金)を確認。

【16冬季一時金闘争における各地域の主な意見】

【日検協会】

- (評価点)
- ・都市加算を組合要求に感じさせた事は評価。
 - ・業績加算の大幅な圧縮と格差幅を縮小させたことは評価。
- (不満点)
- ・乗率部分が下がった事に不満。
 - ・総額では昨冬比、夏比マイナス回答に不満。
 - ・全支部で黒字なのに協会説明に疑問。
 - ・圧縮された業績加算の原資が本体部分に加算されず不満。

【全日検】

- (評価点)
- ・個々で昨冬比較プラス回答になっている事は評価。
 - ・有額回答指定日に回答を引き出させた事は評価。
- (不満点)
- ・要求していない特別評価・役付手当は不満であり、全体配分を求める。
 - ・要求との関係では低額であり不満。
 - ・α回答での支部間格差に不満。
 - ・準職員、契約雇員は収支に貢献しているにも関わらず低額回答に不満。

各地域闘争委員会の皆様。

16冬季一時金闘争おつかれさまでした。

①おきな期待を

②かみ取るために

③かいすう重ねた

④れんぞく交渉...

⑤がったり、上がったいはあったけど、

⑥また次に向けてがんばろう!



【16冬季一時金妥結の態度表明にあたり】

16 冬季一時金要求について、現判運をもって妥結する。
 今冬季一時金交渉は、両協会ともに検数・検量業務が減少傾向にある中での交渉となった。
 組合は第1回交渉での要求提出以降、第5回交渉における機関連手続までの間、一貫して『一時

前回の交渉以降、各地域に『16冬季一時金闘争における中間見解』に対する意見を求め、評価点や不満点があるものの、全地域より『批准』または『一任』という結果を受け、組合は第6回検数労連冬季一時金交渉で妥結の態度表明をしました。

金は賃金の一部であり安定水準の確保』を主眼に交渉の中で訴えるとともに、日常生活の積み重ねである『仕事と収入の確保』＝『稼ぐ力』を發揮する力になると主張し、要求に沿った回答を提示するよつ強く求めてきた。

回答では、全日検においては昨冬比プラス回答、日検協会においては乗率0.03ヶ月減少のマイナス回答となった。また、組合が要求していない全日検の『役付・特別評価・アルファ回答』、日検協会の『アルファ回答』については、要求に沿った回答になっておらず不満を残す結果となった。

諸要求についても原資を伴う課題であり困難、国民的課題に対する態度表明についても理解が得られなく不満を残す結果となった。

今一時金に対する各地域からの主な意見としては、左記の通り、評価点や不満点が出されたが、全ての地域から一時金対応への理解が得られた事により、要求との関係では不満を残す結果となったが、中央闘争委員会の判断によって収束する事とした。

今後の労使共通課題として、以下の点を提起する。

年々、検数業務が減少傾向に入ってきている事に危機感を持ちながら、安定した事業基盤の確立に向けた対応策が労使の最重要課題となる。

今後、船社間の新アライアンスによる運行体制の移行や邦船社のコンテナ船事業の経営統合など港灣物流全体が複雑多岐になってくる事が予想される。

検数両協会を取り巻く現状の認識の一致を計りながら労使共通の重要課題と位置付けて取り組むことが求められる。そのためには、各支部や現場も含めた連年での労使の話し合いが必要不可欠であり、実践していただきたい。

以上

